

頌栄保育学院の中長期ビジョンの推進について

頌栄保育学院の建学の精神および理念

建学の精神（ミッション）

○スローガン：Fullness of Life（子どもに生きる）

○本文：神をわれらの主とあがめ、神の子イエス・キリストをわれらの救い主とする信仰に立ち、創設者アニー・L・ハウがもっとも信奉したフレーベルの教育理念を乳幼児の保育に生かした教育・研究・実践を通して、広く神と人とに仕える

○基準聖書：マルコによる福音書 第10章13節～16節

「子供たちをわたしのところに來させなさい、妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきり言うておく。子供のように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。そして、子供たちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」

○ミッション・ステートメント：まっすぐに保育（いのち・こころ・みつめる）

ビジョン

3つの個性で選ばれる学院をめざす

- ① 時代を拓く保育者養成機関（Pioneer）
- ② 人格と使命感に秀でた専門職の輩出（Professional）
- ③ 多様なニーズに対する実践力の発揮（Practical）

行動指針

- ・一人ひとりを大切に
- ・やり遂げる意志
- ・奉仕のこころ

<理念項目の意味と役割>

- ①建学の精神とは…
学院の設置目的と立脚すべき基本理念を述べたもの。本学院の建学の精神には、学院の存在意義である基本使命（ミッション）が含まれていると理解できる。
- ②スローガンとは…
学院の建学の精神を一言で表現し、共有化と理解促進に役立てるコミュニケーション・ツールである。
※このスローガンは、1919年の創立者ハウ先生の言葉であり、フレーベル主義とキリスト教精神を含むキーワードである。
- ③基準聖書とは…
建学の精神をキリスト教的に根拠づける一つの基準として設定する聖書の箇所である。
※この基準設定は、従来よく言及されるイザヤ書40:31がハウ先生の愛唱聖句であり、必ずしも本学院の建学の精神に適合するものではないことから、改めて選定したものの。
- ④ミッション・ステートメントとは…
本学院が使命とする保育関連活動（保育者教育、幼児教育・保育、研究、社会貢献等）の個性を端的に表現したもので、Fullness of Lifeを追求する具体的アプローチに言及したものの。
- ⑤ビジョンとは…
本学院の将来像であり、本学院の個性が継承されることを願って描く到達イメージである。
- ⑥行動指針とは…
本学院に属するメンバーを中心に、本学院の個性を行動面、態度や活動成果として視覚化する上で、モード的な意味でのガイドラインとして意識するもの。

中長期計画 2017-2022 (6 年間)

◆重点事項

- ・適切な運営による質の確保
- ・伝統を受け継ぎ、未来を拓く

1 「頌栄」への原点回帰

①伝統に裏付けられた頌栄ブランドの強化

- ブランドイメージの再構築と発信
- 頌栄ファミリー（短期大学、幼稚園、保育園、こども園）間のコミュニケーション
- 卒業生ネットワークとの交流・協働

②保育者養成の矜持と使命の継承

- 魂の教育・音楽教育・自然教育の現代的実現
- フレーベルの教育理念の尊重
- 専門教育機関としての充実

③幼児教育・子育てに関する拠点

- 現代的ニーズの把握と提供
- 幼児教育の根本の保持
- 地域の関係機関との連携

2 建学の精神にもとづく質の高い保育者の養成（頌栄短期大学）

①実践・奉仕・共感 のこころをもった社会・時代に仕える保育者の養成

- 保育科カリキュラムの充実
- 専攻科進学者の安定化
- 頌栄ファミリーの連携・協働

②キリスト教の精神にもとづく豊かな学びの保障

- ハウ研究所における研究・情報発信
- キリスト教同盟校との連携（単位互換、編入学）
- キャリアアップ研修・リカレント教育

③質の高い保育者の安定的輩出

- 通学圏域にある高等学校との連携強化
- 奨学金制度の充実
- 多様な入学者への対応

3 建学の精神に基づく豊かな保育（頌栄幼稚園）

①キリスト教精神にもとづく保育

- キリスト教に関する活動・行事の充実と魂の教育
- ハウ先生の業績の可視化による周知

②フレーベル教育理念を生かした保育の実践・研究

- フレーベル恩物の活用
- 母の遊戯と育児歌の実践

③地域に開かれた子育て支援の発信園として貢献

- 頌栄ファミリーとの連携
- 幼稚園後援会の設立
- 地域への保育研究会、子育て講演会、育児相談室等の実施

4 健全な組織と財務基盤の確立

①組織マネジメントの強化

- 理事会ガバナンスによる経営資源（ヒト、モノ、カネ、情報）活用の体制強化
- 法人及び各設置校の組織・制度等の適正化と体制強化
- 中長期計画と単年度事業計画の進捗管理と推進

②財務計画・管理の適正化

- 事業別予算管理制度の推進
- 法人及び各設置校の収支構造の改善と適正化
- 施設・設備計画の策定と遊休資産の活用

③収入財源の強化

- 寄附金募集の強化（創立 130 周年記念寄附金を含む）
- 経常・特別補助金、科学研究費補助金の獲得強化
- 施設等の資産活用による収入の拡充

中長期ビジョンの策定・推進スケジュール

策定

- 2017年3月～2018年3月
- WG⇄経営企画委員会
- 経営企画委員会⇄理事会(最終 2018年3月 理事会)
- 学内内示 単年度事業計画への反映

周知

- 2018年4月 学内周知
- " 5月 パンフレット等作成
- " 6月 オープンキャンパス等活用
- 関係省庁への対応(名称・カリキュラム等)

実行

- 2019年 創立130周年 実施(別途 PJ設置)
- 2019年から2022年までの全体計画の進捗管理
- 各単年度計画の進捗管理